

◆歳入額対資産比率（年）

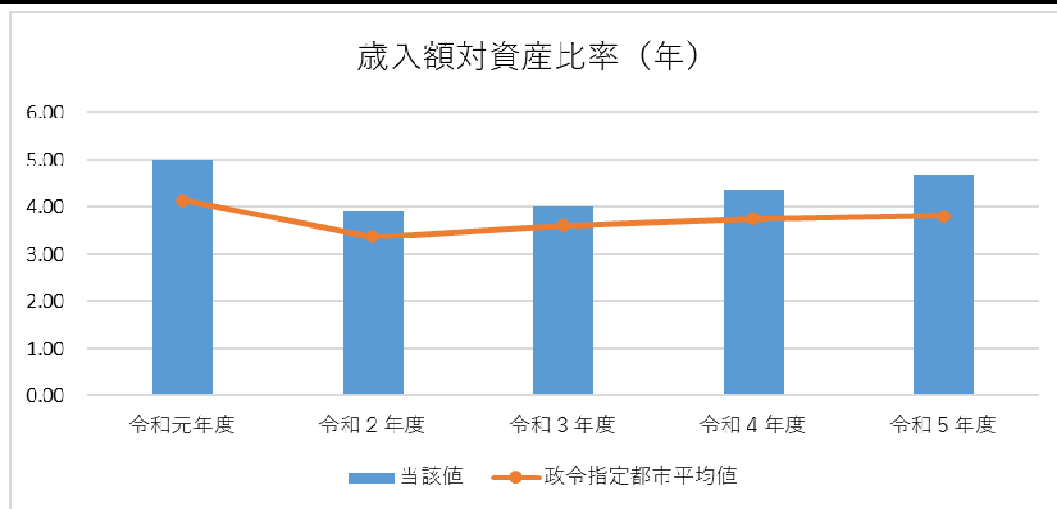
算定式

資産合計 ÷ 歳入総額*

*前年度末資金残高を含む

これまでに形成された資産が、その年の歳入の何年分に相当するかを表す指標。地方公共団体の資産形成の度合いを把握することができる。なお、歳入総額とは資金収支計算書の各収入（業務収入、臨時収入、投資活動収入、財務活動収入）に、前年度末資金残高を加えたものである。

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|
| 資産合計 | 9,869,059 | 9,925,356 | 9,986,760 | 10,081,256 | 10,072,701 |
| 歳入総額 | 1,971,620 | 2,533,594 | 2,481,963 | 2,325,509 | 2,159,967 |
| 当該値 | 5.01 | 3.92 | 4.02 | 4.34 | 4.66 |
| 政令指定都市平均値 | 4.14 | 3.37 | 3.61 | 3.75 | 3.80 |



【5年度分析】

歳入額対資産比率は、政令指定都市平均を上回っている。本市は分母である歳入額も大きい、分子である資産額がより大きいことが要因である。また、前年度と比較して、0.32年増加した。主な要因として、中小企業融資制度の預託金の減や資産売却収入の減などにより、歳入額が減少したことによるものである。

※1 会計区分は一般会計等。